

2021年版芸術生活カレンダー「翼にのって」

(※より写真の迫力をお楽しみいただくため、オリジナルの比率を採用しています)

カレンダーの購入はこちらから

1日 イタリア・パルマノーヴァ



オスマン帝国に対して東方国境線を防備するため、16世紀末にヴェネツィア共和国によって築かれた城塞都市。ルネサンスの建築家ヴィンチェンツォ・スカモツィが計画し、軍事的合理性とルネサンス的秩序が結びついた理想都市の実践例として知られる。

2日 ウクライナ・カルパティア山脈



主にスロバキア、ポーランド、ウクライナ、ルーマニアと、周辺のチェコ、ハンガリー、セルビアにまたがる全長1500kmに渡る山脈。周辺12カ国にまたがる原生ブナ林とともに世界遺産に登録されている。

3日 オランダ



春のオランダでは、日本では見られない色や形のチューリップも多い。花畑と思われがちだが、実際は球根栽培のための畑で、花は最盛期を待たずに切り落とされてしまう。周囲数10kmもの花のじゅうたんが見られるのは4月下旬から5月初旬の数週間に限られる。

4日 オーストラリア・ゴールドコースト



アボリジニの人々が暮らしていた1800年代、ヨーロッパの冒険家の入植によって開発が進んだ。観光地としての地位が確立した20世紀初頭以来、世界有数のリゾートとしての顔と、不動産投資の光と影が刻まれてきた街。

5日 ギリシャ・テッサロニキ



紀元前315年に創建され、2300年の歴史を誇る。アテネに次ぐ2番目に大きな都市。新年を迎えてにぎわう街を見下ろすと、目の前で弾けた花火が映り込む。ドローンならではの一枚。

6日 ブルガリア・ペログラトチク要塞



歴史は紀元前、ローマ帝政期まで遡ると言われる。当初は監視塔だったが14世紀に拡張、守備隊が置かれ要塞化した。現在のヨーロッパ的な意匠は19世紀になって付け加えられたもの。

7日 ポルトガル・リーアフォルモーザ自然公園



ポルトガルの7つの偉大な自然の一つに選ばれた1万8400ヘクタールの公園は自然保護区でもあり、水鳥の生息地でもある。重工業が無いいため水質が保たれ、オオフラミンゴ、アオサギ、シギなどが多く観察される。

8日 ロシア・モスクワ



大都市の立体交差は、眠ることなく光の筋を描き続ける。ワルシャワ街道、キエフ街道など、伝統的に行き先の名をとった道路は、新しく建設された幹線道路とつながり、多数の環状道路と交差する。クレムリンを中心にすべての方角に放射状に幹線道路が延びている。

9日 タンザニア・ザンジバル諸島沖



アフリカ大陸の東、インド洋に浮かぶザンジバル島周辺の海は、世界一美しいとうたわれる。島には未開発の自然が残され、島にしか生息していない猿（レッドコロブス）など希少動物と出会える。野生のイルカと泳ぐこともできる。

10日 ネパール・ボダナート



人よりも神々が多く住むと言われるカトマンズに建つ、高さ約36メートルのネパール最大のチベット仏教の仏塔。中心に仏舎利（ブツダの遺骨）が納められている。

11日 日本・栃木県



山の神がここを舞台に争いを繰り広げたという伝説から戦場ヶ原の名が付いた。周辺水域より高い所に位置するが、雨や雪が湿原を潤す。日光国立公園内にある。

12日 イタリア・ヴェネツィア運河



海上貿易により経済力のある共和国として1000年にも及ぶ歴史を築いてきたヴェネツィアは、街作りには不向きな泥と砂の潟に地中深く杭を打ち込み、石の土台を作った上に建設された水都。潟の環境を維持するための天然の水路は、数々の物語の舞台にもなっている。貴族たちが競うように運河に面して建てた邸宅が現在も残る。

13日 ベトナム・ハンライ (ライ洞窟)



カワウソ (ライ) の生息地ということから名付けられた。海底には数百万年に渡って形成された巨大な珊瑚礁と洞窟がある。太陽の傾き、潮の満ち干などにより一日に幾度となく表情を変え、写真愛好家の聖地ともいわれる。

14日 (表紙) アメリカ ニューヨーク・ジョージワシントンブリッジ



ニューヨークとニュージャージー州を結ぶ吊り橋。1日あたりの車両交通量が世界一多い。1962年、交通量の増加に伴い下層が追加された。

15日 イタリア・チンクエテッレ



イタリア北西部にある五つの集落の総称。色彩に富んだ家並みとワインの産地として知られる。平地が無く、数百年かけて急斜面の固い岩盤を削って築いた石垣の長さは、日本列島を往復する距離に相当する。この石垣を土台として育つブドウから作られるワインは、古くから王室や貴族のテーブルに置かれてきた。

16日 ドイツ・ケルン



ヨーロッパでも人気の高いドイツのクリスマス市場。このケルン大聖堂前の市場は、中央に天然木を使った20メートル以上のクリスマスツリーが置かれ、イルミネーションには7万個の電球が使われる。

17日 モンゴル・ゴビ砂漠



世界4大砂漠に数えられる。他の砂漠と比べ高緯度（北海道に相当）だが、夏場の気温は45度を超えることもある。古代は植物の豊かな地域であったため、恐竜化石の世界的な発掘地でもある。

18日 ニュージーランド・クライストチャーチ



ニュージーランド南島に位置する、経済、交通の中心地ながら自然も多く残された別名「ガーデンシティ」。南島の背骨とも言われる南アルプス山脈は標高2000メートル以上は氷河帯に入る。スキー、ゴルフ、ホエールウォッチングなど多種のアクティビティーが国際空港から2時間以内の範囲ですべて楽しめる、世界でも他に例を見ない環境に恵まれた都市。一日の間に四季が巡るほど急激な天候の変化もある。

19日 シンガポール



風水をもとに設計された世界最大の噴水「富の噴水」。中国語では「財富之泉」。ライトアップされる夜間には音楽が流れ、レーザーショーも開催される。

20日 イギリス・ロンドン塔



もともとは要塞として建設されたが、宮殿、造幣局、天文台、銀行、動物園、監獄、処刑場とさまざまな使い方をされてきた。伝説でアーサー王が姿を変えたとされるワタリガラスが一定数飼育されている。

21日 フィンランド



18万を超える湖沼は山間や盆地に形成されたのではなく、氷河期の氷層の名残。凍結する冬場は公共の道路として利用されるものもある。

22日 インド・ジャイサルメール



砂漠の蜃気楼のような街。砂岩で作られた歴史的建造物が、日没間際のいっとき金色に輝いて見えるためゴールデンシティの愛称がある。

23日 中国 香港特別行政区



1100km²ほどの土地に750万人が暮らす世界有数の人口密集地域。幾度かの戦争のたびに難民が続々となだれ込んだためスペース不足により高密度な建造物の需要が高まり、世界で最も垂直な都市へと開発された。

24日 南アフリカ・クルーガー国立公園



南北360km、東西65kmに及ぶ南アフリカ有数の規模の鳥獣保護区。哺乳類147種、鳥類517種が確認されている。絶滅危惧種リカオンの保護を支援している。

25日 インドネシア・バリ島



千年の時を超えて今に受け継がれている伝統的な水利システムと圧倒される造形美。神々と祭礼の島バリには、世界遺産に登録されている雄大な棚田がある。稲作にかかわるすべての作業は神事と位置付けられている。

26日 ウクライナ・クリミア半島 ツバメの巣城



黒海に面した高さ40メートルの崖上に立つ。オリジナルの建物は1895年に建てられた木造のコテージ。その後、1912年、ドイツ貴族によって現在の姿に改築された。

27日 スロバキア・タトラ山地



ハクトウワシの背景に広がるのは、ポーランドとの国境、カルパチア山脈西部の山地。スロバキア国旗のデザインに使われ、国家にも歌われている。

28日 タイ・サラシン橋



本土とプーケット島を結ぶ橋。映画の舞台にもなった。別称「悲恋の橋」。

29日 場所不詳



モノトーンの風景は、抽象画のようでもある。イマジネーションを掻き立てる色の無い世界。

30日 UAE ドバイ・マリーナ



世界第二の面積を誇る人工のマリーナ。完成した120階建のマンションを含む200棟の超高層マンションが建設中。完成すれば世界最大のマリーナになる予定。

31日 イグアスの滝



アルゼンチンとブラジルにまたがる世界最大の瀑布。イグアス国立公園とともに世界遺産に登録されている。